

第2章 ディスプレイ

利用を待つ学校図書館でなく、利用を呼びかける学校図書館にするための工夫の一つとして、季節、行事、テーマ等に合わせてディスプレイを工夫しています。

1 季節感を演出するディスプレイ

百円ショップで購入した造花、学校祭の展示物の再利用、フリーソフトで描いた絵、折り紙など、アイデアが活かされたディスプレイの数々です。



春「さくら」(茂高)



夏(足特校)



夏(今工高)



夏「新着本のコーナー」(真女高)



雨の日は読書しよう!(宇商高)



芸術の秋(小西高)



クリスマス(大女高)



ハロウィン(大女高)



クリスマス(小西高)



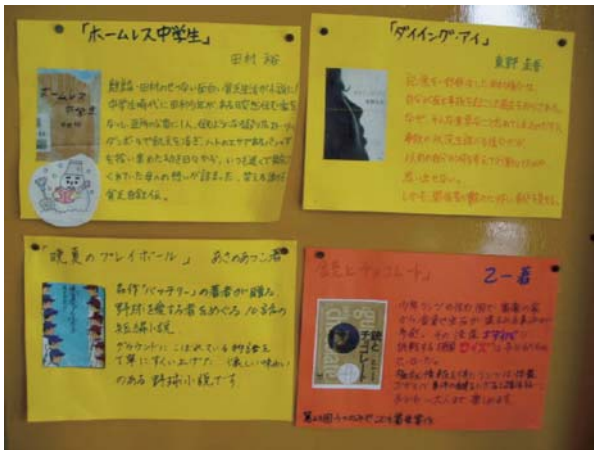
クリスマス(茂高)



クリスマス(鹿東高)

2 効果的に図書を紹介するディスプレイ

学校図書館の入り口やその付近に掲示した、図書を紹介するディスプレイの例です。



図書館入り口の掲示(今工高)



図書館入り口に掲示した、図書委員一人一作の図書案内(真女高)



「ファンタジーの世界」(鹿東高)



図書委員オススメの本(大女高)



「新着本紹介」(足特校)

3 小道具による表示や演出

暖かい雰囲気作りに一役買っている小道具です。



「OPEN」の表示とぬいぐるみ(宇東高・附中)



「おすすめ」と「貸出中」の表示(宇商高)



机上の観葉植物(宇女高)



ネコ型ブックエンド(真女高)



花籠を再利用(真女高)